

**「学生と授業改善について考えるアンケート」
報告書**

2015 年度

日本女子大学

目 次

I. 学部FD委員会より	1
II. 実施概要	2
(1) 実施要綱（前期・後期）	
(2) 質問項目	
(3) 実施科目	
(4) 実施方法・実施期間	
(5) 授業アンケートのフィードバック	
III. 集計結果（2015年度前期）	7
2015年度前期「学生と授業改善について考えるアンケート」平均値	
IV. 集計結果（2015年度後期）	8
2015年度後期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果（全体）	

I. 学部FD委員会より

本報告書は、2015年度に実施した「学生と授業改善について考えるアンケート」についての集計結果を記録した資料である。2015年度は、学部FD委員会において、従来の「学生による授業評価」の抜本的な改革を行い、実施対象科目を基盤教育の科目群（A科目群）と専門教育の科目群（B科目群）に分け隔年で実施することとし、名称も「学生と授業改善について考えるアンケート」に変更して実施した。また、後期よりJASMINE-Naviのアンケート機能を使用して実施する方法に変更し、電子化を進めた。さらに、アンケート結果の組織的な活用を進めるため、科目区分毎に集計結果をまとめることとなった。

アンケートの名称変更は、アンケート実施の目的が単なる「学生による授業評価」ではなく、教員と学生がともに授業を振り返り、今後の授業の改善方法について考えるための機会とすることにあるため、このことを明確にメッセージとして伝えるために行ったものである。今後、教員・学生の両者が主体的に授業改善に取り組むためのきっかけとして活用されるようになっていくことを期待している。

アンケート結果をどのように積極的に活用していくかが今後の課題であるが、2015年度後期分より集計方法を変更し、科目区分毎の集計結果をまとめることとした。これによって、科目区分単位での傾向を把握できるようにした。今後も、適切な集計方法については継続的に検討を行っていきたいと考えている。

回答率については、前期が78.3%、後期が42.2%となった。前期の回答率は従来の平均的な回答率とほぼ同程度となったが、後期になって大幅に落ち込むこととなった。これは、電子化にともないアンケート実施方法が変わったことが主な理由であると考えられる。従来の紙を用いた方法では、その場でアンケート用紙に記入することが求められるため、必然的に回答率は高くなるが、後期に実施した方法では、アンケートシステムの仕様上の都合もあり、授業中にその場で確実に回答してもらうことが難しくなった。また、授業時間内・授業時間外いずれでもアンケート回答可能としたが、結果として無回答のままになってしまう学生が多かったと思われる。アンケートシステムの電子化は、集計処理の大幅な効率化など、様々な利点があるため、運用方法を工夫することによって回答率を上げていきたい。

2016年度学部FD委員会

委員長 横田 裕介

II. 実施概要

(1) 実施要綱

2015（平成 27）年度前期「学生と授業改善について考えるアンケート」実施要綱

1. 趣旨・目的

- ①日本女子大学学則第 2 条に規定する自己点検・評価の一環として「学生と授業改善について考えるアンケート」（以下「アンケート」という。）を行う。
- ②授業内容・方法、教員と学生双方の授業に対する取り組み等について、履修した学生の意見を広く聴取し、その結果を授業改善に生かすことを目的とする。

2. 対象科目

以下の前期開講科目を対象とする。
基礎科目、教養科目、家政学部共通科目、学科教育科目の基本科目および展開科目、担当教員が実施を希望する科目

3. 実施方法

- ①授業時間内に行う。（おおよそ 10～15 分程度。）
- ②アンケート用紙の教員への配付については、以下のとおりとする。
専任教員については、あらかじめ学科を通して届ける。非常勤講師については、実施の直前に教務・資格課、西生田学務課より受け取る。
- ③実施については、教員本人が教室で配付し、教員から委託を受けた学生が回収・封入し、授業終了後、直ちに教員が教務・資格課、西生田学務課に届けることとする。

4. 「学生と授業改善について考えるアンケート」用紙

- ①アンケート用紙は全学部共通とする。
- ②自由記述式の用紙も用意する。回収された用紙は、授業科目履修終了後に行われる「成績報告」が提出された後に、原文・直筆のまま授業担当者へ渡すこととする。したがって、自由記述の統計処理及び分析は行わないこととする。
- ③学生の氏名は、匿名とする。

5. 実施に先立ち、掲示等により趣旨・実施期間など学生への周知徹底をはかる。

6. 実施時期

学期末の 2 週間をあてる。
ただし、集中授業などの理由により上記の日程で実施できない場合には、前期授業終了日以前の別の日に実施することができる。

7. 結果の公表方法

- ①個々の教員へは、個々の科目の集計結果が、個人ごとに知らされ、他には担当教員の合意がない限り知らせないものとする。
- ②全体の集計結果については前期のみの「報告書」を作成する。教員が希望すれば、「報告書」において個々の結果および結果に対する教員の所見を公表することができる。
- ③「報告書」はホームページで公開する。

8. 結果分析において、個々の科目の結果を知り得る学部 FD 委員会委員および関係事務の者は守秘義務が課せられ、結果は授業改善に生かす目的以外には使用しない。

2015（平成 27）年度後期「学生と授業改善について考えるアンケート」実施要綱

1. 趣旨・目的

- ①日本女子大学学則第 2 条に規定する自己点検・評価の一環として「学生と授業改善について考えるアンケート」（以下「授業アンケート」という。）を行う。
- ②授業内容・方法、教員と学生双方の授業に対する取り組み等について、履修した学生の意見を広く聴取し、その結果を授業改善に生かすことを目的とする。

2. 対象科目

以下の後期開講科目および通年開講科目を対象とする。
基礎科目、教養科目、家政学部共通科目、学科教育科目の基本科目および展開科目、キャリア形成科目、担当教員が実施を希望する科目

3. 実施方法

- ①JASMINE-Navi の「授業アンケート」機能を使用して実施する。
- ②学生はスマートフォン、タブレット、パソコン等でアクセスして回答する。
- ③実施期間中は、学生は何度でも回答を修正することができる。
- ④授業時間内に実施することについては担当教員の判断とする。

4. 「学生と授業改善について考えるアンケート」質問項目

- ①質問項目は全科目同一とする。
- ②教員個別質問項目は、共通質問項目に追加して 5 問まで設けることができる。個別の質問内容はフォーマットに掲載できないため、担当教員が別途、学生に通知する。
- ③学生の氏名は、匿名とする。
- ④システム上、担当教員が個々の回答について回答者を特定することはできない。

5. 学生への周知

掲示等により趣旨・実施期間・実施方法などの周知をはかる。
受講科目が実施科目であることは、担当教員が学生に通知する。

6. 実施時期

後期授業終了日までの 3 週間をあてる。（試験期間を除く）
ただし、集中授業などの理由により上記の日程で実施できない場合には、後期授業終了日以前の別の日に実施することができる。

7. 結果の公表方法

- ①個々の科目の集計結果は、担当教員は特定の期間のみ JASMINE-Navi で参照できる。第三者には担当教員の合意があれば公表することができる。
- ②全体の集計結果については 2015 年度後期のみの「報告書」を作成する。担当教員が希望すれば、「報告書」において個々の結果および結果に対する担当教員のコメントを公表することができる。
- ③「報告書」は「学内版」と「学外版」を作成し、「学内版」には担当教員から学生へのコメントを掲載することができる。

8. 不具合が生じた場合は、授業アンケートに関する問い合わせ窓口は研究・学修支援課。
JASMINE-Navi に関する学生対応窓口はメディアセンター。

9. 結果分析において、個々の科目の結果を知り得る学部 FD 委員会委員および関係事務の者は守秘義務が課せられ、結果は授業改善に生かす目的以外には使用しない。

(2) 質問項目

2015（平成 27）年度前期アンケート用紙

学生と授業改善について考えるアンケート	学部FD委員会	集計 <input type="checkbox"/>
<p>このアンケートは、学生と教員が協働してよりよい授業づくりを進めていくために、皆さんの声をお聞きしたいということを目的としておこないます。</p> <p>学科： <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 学年： <input type="checkbox"/> （※科目等履修生などで学年がわからない場合は未記入でも可）</p> <p>※学科欄は下記の該当の数字を記入してください。</p> <p>〔 児童=01，食物(食専)=02，食物(管理)=03，住居(全学生)=04，被服=05，家政経済=10，日本文=11，英文=12，史学=13，現代社会=61，社会福祉=62，教育=63，心理=64，文化=65，数物科=16，物質生物科=17，交換留学生・科目等履修生・交流学生(F-Campus)・通信教育課程学生等、上記以外=90 〕</p> <p>授業科目名： _____ 授業担当者名： _____</p> <p>() 曜日 () 時限 教室名： _____番教室</p> <p>共通質問項目</p>		
<p>以下の質問につき、もっとも当てはまる答えを選択し、 □にチェック（レ）を入れてください。</p> <p>I. 授業内容について</p> <p>1. シラバス（講義概要）は受講に役立った。</p> <p>2. 各回の授業のねらいは明確であった。</p> <p>3. 授業の内容は分かりやすかった。</p> <p>4. 各回の授業内容の量が適切であった。</p> <p>5. 授業で扱った分野に関する基本的な知識が得られた。</p>	<p>大いに そう思う</p> <p>そう 思う</p> <p>どちら ともい えない</p> <p>あまり そう思 わない</p> <p>そう 思わな い</p> <p>該当 しない</p>	
<p>II. 教員の授業に対する姿勢・取り組みについて</p> <p>1. 教員の授業に対する準備は適切であった。</p> <p>2. 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションが適切であった。</p> <p>3. 板書・パワーポイント・教科書・授業レジュメプリントや参考文献が適切であった。</p> <p>4. 教員による静寂な環境への取り組みは適切であった。</p>	<p>大いに そう思う</p> <p>そう 思う</p> <p>どちら ともい えない</p> <p>あまり そう思 わない</p> <p>そう 思わな い</p> <p>該当 しない</p>	
<p>III. あなた自身の授業に対する意識・取り組みについて</p> <p>1. 授業中の静粛性を保てるよう努力した。</p> <p>2. この授業で積極的に意見や質問を述べた。</p> <p>3. この授業の今までの欠席回数は（ ）であった。</p> <p>4. この授業の予習復習等、授業以外に（ ）学習した（毎週の平均）。</p> <p>5. 自分にとって新しい考え方・発想がえられた。</p> <p>6. 学問的興味をかきたてられた。</p> <p>7. この授業に対する達成度を示してください。</p> <p>8. この授業に対する満足度を示してください。</p>	<p>大いに そう思う</p> <p>そう 思う</p> <p>どちら ともい えない</p> <p>あまり そう思 わない</p> <p>そう 思わな い</p> <p>該当 しない</p>	<p>0 回</p> <p>1 回</p> <p>2 回</p> <p>3 回</p> <p>4 回 以上</p> <p>4 時間 以上</p> <p>3~4 時 間未 満</p> <p>2~3 時 間未 満</p> <p>1~2 時 間未 満</p> <p>1 時間 未 満</p> <p>達成した</p> <p>やや達成 した</p> <p>ふつう</p> <p>あお達成 して いない</p> <p>達成して いない</p> <p>満足</p> <p>やや 満足</p> <p>ふつう</p> <p>やや 不満</p> <p>不満</p>
<p>ご協力ありがとうございました。</p>		

※こちらの用紙は実際はB5サイズとなります

授業科目名： _____ 授業担当者名： _____
() 曜日 () 時限 教室名： _____番教室

教員個別質問項目	大いに そう思う	そう 思う	ど ちら とも いえ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自由記述 (この記述は、授業科目履修終了後に行われる「成績報告」が、授業担当者から提出された後に、直筆の原文のまま授業担当者へ渡します。)

授業について良かった点や改善してほしい点等を自由に書いてください。

※後期は、JASMINE-Navi「授業アンケート」機能を使用し、前期と同様の質問項目にて実施した。

(3) 実施科目

授業科目の区分 (地区)	2015 前期実施		2015 後期実施	
	科目数 (専任・非常勤等)	有効回答数	科目数 (専任・非常勤等)	有効回答数
基礎科目 (目白地区)	243 (52・191)	5188	259 (59・200)	2800
教養科目 (目白地区)	40 (21・19)	3175	36 (17・19)	1529
家政学部共通 (目白地区)	14 (10・4)	824	9 (8・1)	186
基本科目 (西生田地区)	71 (36・35)	1874	135 (58・77)	1642
展開科目 (西生田地区)	72 (35・37)	3821	86 (45・41)	1941
キャリア形成科目 (両地区)	—	—	6 (0・6)	174
上記区分以外で希望により実施した科目	34 (18・16)	1803	45 (22・23)	1169
計	474 (172・302)	16685	576 (209・367)	9441
	前期回答率→	78.3%	後期回答率→	42.2%

(4) 実施方法・実施期間

前期 2015年 7月 9日 (木) ～ 7月 28日 (火) 補講日を除く
…アンケート用紙の配布・回収により実施

後期 2015年 12月 18日 (金) ～2016年 1月 21日 (木) 学生の回答期間
…JASMINE-Naviの「授業アンケート」機能により実施

(5) 授業アンケートのフィードバック

個別結果…授業担当者に通知する (前期: 授業アンケート個人通知書、後期: JASMINE-Navi にて参照)。結果に対して、授業担当者は学生へのコメントを公表が可能。

報告書…大学HP、学生向け掲示 (JASMINE-Navi) にて公表。
各学科及び授業を管轄する委員会へ配付。

Ⅲ. 集計結果（2015年度前期）

2015年度前期「学生と授業改善について考えるアンケート」平均値

集計はアンケートの各質問回答欄に対し、下記の数値を割り当て、平均値の統計処理を行った。

(質問 I. II. III-1, 2, 5, 6)

大いに思う… 5 そう思う… 4 どちらともいえない… 3
あまりそう思わない… 2 そう思わない… 1

(質問 III-7)

達成した… 5 やや達成した… 4 ふつう… 3 あまり達成していない… 2
達成していない… 1

(質問 III-8)

満足… 5 やや満足… 4 ふつう… 3 やや不満… 2
不満… 1

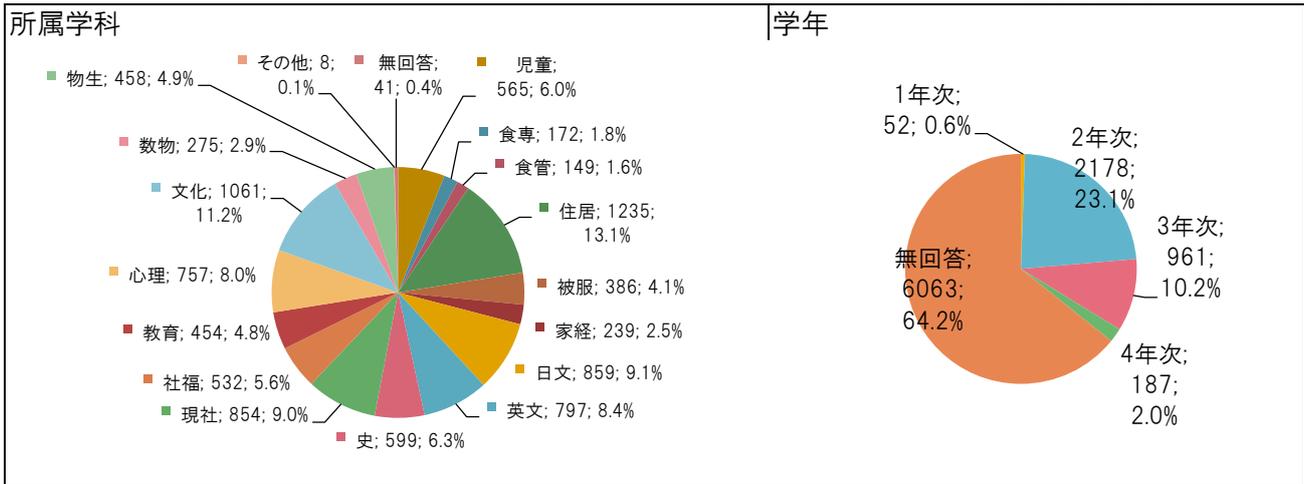
質 問 項 目	平均値
	前期
質問 I-1_シラバス（講義概要）は受講に役立った	4.00
質問 I-2_各回の授業のねらいは明確だった	4.22
質問 I-3_授業の内容は分かりやすかった	4.20
質問 I-4_各回の授業内容の量が適切だった	4.20
質問 I-5_授業で扱った分野に関する基本的な知識が得られた	4.27
質問 II-1_教員の授業に対する準備は適切であった	4.41
質問 II-2_教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションが適切であった	4.24
質問 II-3_板書・パワーポイント・教科書・授業レジュメプリントや参考文献が適切であった	4.21
質問 II-4_教員による静寂な環境への取り組みは適切であった	4.32
質問 III-1_授業中の静粛性を保てるよう努力した	4.41
質問 III-2_この授業で積極的に意見や質問を述べた	3.50
質問 III-5_自分にとって新しい考え方・発想が得られた	4.05
質問 III-6_学問的興味をかきたてられた	4.05
質問 III-7_この授業に対する達成度を示してください	4.02
質問 III-8_この授業に対する満足度を示してください	4.23

(※ 目白・西生田キャンパス全授業科目の授業アンケート結果集計による平均値)

IV. 集計結果 (2015 年度後期)

2015 年度後期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果 (全体)

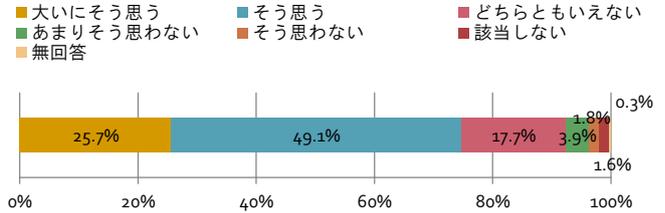
有効回答数 9 4 4 1



評価帯 グラフ

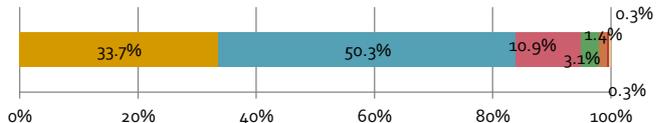
I-1. シラバス(講義概要)は受講に役立った。

大いにそう思う	2426	25.7%
そう思う	4636	49.1%
どちらともいえない	1674	17.7%
あまりそう思わない	364	3.9%
そう思わない	168	1.8%
該当しない	148	1.6%
無回答	25	0.3%



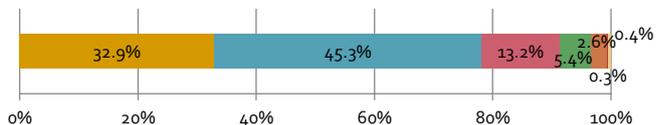
I-2. 各回の授業のねらいは明確であった。

大いにそう思う	3177	33.7%
そう思う	4752	50.3%
どちらともいえない	1027	10.9%
あまりそう思わない	292	3.1%
そう思わない	132	1.4%
該当しない	29	0.3%
無回答	32	0.3%



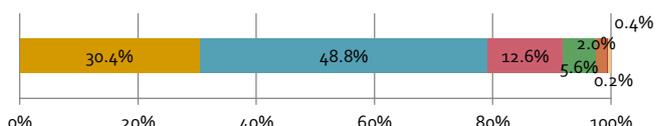
I-3. 授業の内容は分かりやすかった。

大いにそう思う	3104	32.9%
そう思う	4273	45.3%
どちらともいえない	1243	13.2%
あまりそう思わない	513	5.4%
そう思わない	241	2.6%
該当しない	26	0.3%
無回答	41	0.4%



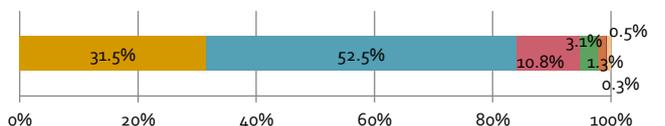
I-4. 各回の授業内容の量が適切であった。

大いにそう思う	2873	30.4%
そう思う	4605	48.8%
どちらともいえない	1187	12.6%
あまりそう思わない	527	5.6%
そう思わない	191	2.0%
該当しない	21	0.2%
無回答	37	0.4%



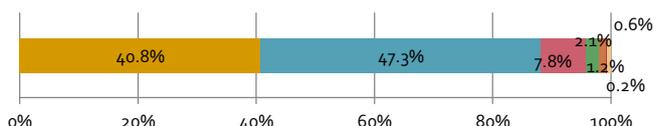
I-5. 授業で扱った分野に関する基本的な知識が得られた。

大いにそう思う	2970	31.5%
そう思う	4952	52.5%
どちらともいえない	1022	10.8%
あまりそう思わない	295	3.1%
そう思わない	127	1.3%
該当しない	27	0.3%
無回答	48	0.5%



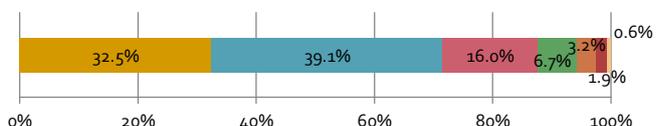
II-1. 教員の授業に対する準備は適切であった。

大いにそう思う	3855	40.8%
そう思う	4463	47.3%
どちらともいえない	738	7.8%
あまりそう思わない	198	2.1%
そう思わない	117	1.2%
該当しない	16	0.2%
無回答	54	0.6%



II-2. 教員の一方面的な授業ではなく、コミュニケーションが適切であった。

大いにそう思う	3067	32.5%
そう思う	3694	39.1%
どちらともいえない	1511	16.0%
あまりそう思わない	637	6.7%
そう思わない	300	3.2%
該当しない	180	1.9%
無回答	52	0.6%



II-3. 板書・パワーポイント・教科書・授業レジュメプリントや参考文献が適切であった

大いにそう思う	3002	31.8%
そう思う	4355	46.1%
どちらともいえない	1251	13.3%
あまりそう思わない	332	3.5%
そう思わない	172	1.8%
該当しない	276	2.9%
無回答	53	0.6%



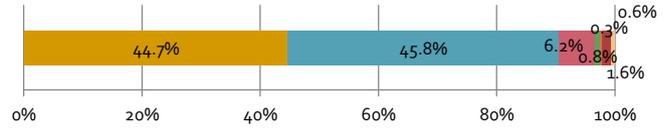
II-4. 教員による静寂な環境への取り組みは適切であった。

大いにそう思う	3172	33.6%
そう思う	4471	47.4%
どちらともいえない	1128	11.9%
あまりそう思わない	297	3.1%
そう思わない	116	1.2%
該当しない	186	2.0%
無回答	71	0.8%



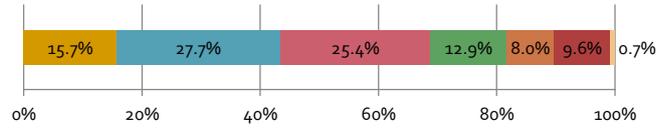
III-1. 授業中の静粛性を保てるよう努力した。

大いにそう思う	4216	44.7%
そう思う	4326	45.8%
どちらともいえない	585	6.2%
あまりそう思わない	78	0.8%
そう思わない	31	0.3%
該当しない	149	1.6%
無回答	56	0.6%



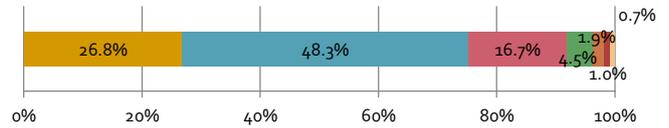
III-2. この授業で積極的に意見や質問を述べた。

大いにそう思う	1484	15.7%
そう思う	2616	27.7%
どちらともいえない	2402	25.4%
あまりそう思わない	1217	12.9%
そう思わない	758	8.0%
該当しない	902	9.6%
無回答	62	0.7%



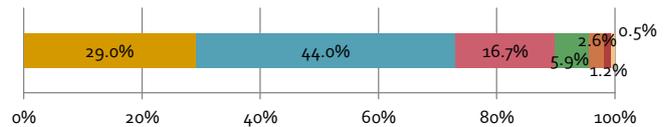
III-5. 自分にとって新しい考え方・発想がえられた。

大いにそう思う	2528	26.8%
そう思う	4563	48.3%
どちらともいえない	1578	16.7%
あまりそう思わない	428	4.5%
そう思わない	179	1.9%
該当しない	98	1.0%
無回答	67	0.7%



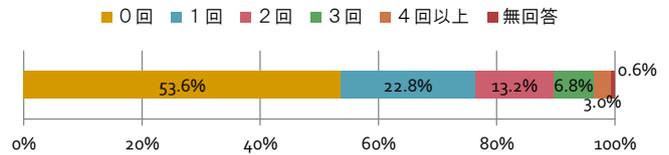
III-6. 学問的興味をかきたてられた。

大いにそう思う	2734	29.0%
そう思う	4156	44.0%
どちらともいえない	1581	16.7%
あまりそう思わない	556	5.9%
そう思わない	245	2.6%
該当しない	118	1.2%
無回答	51	0.5%



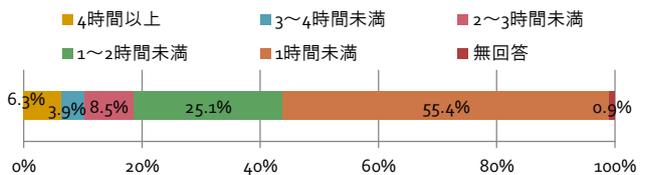
III-3. この授業の今までの欠席回数

0回	5056	53.6%
1回	2156	22.8%
2回	1248	13.2%
3回	642	6.8%
4回以上	285	3.0%
無回答	54	0.6%



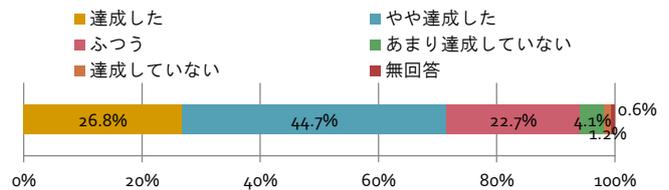
III-4. この授業の予習復習等、授業以外での学習に当てた時間(毎週の平均)。

4時間以上	591	6.3%
3~4時間未満	366	3.9%
2~3時間未満	801	8.5%
1~2時間未満	2368	25.1%
1時間未満	5232	55.4%
無回答	83	0.9%



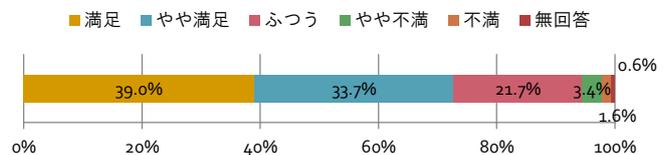
III-7. この授業に対する達成度を示してください。

達成した	2531	26.8%
やや達成した	4216	44.7%
ふつう	2139	22.7%
あまり達成していない	384	4.1%
達成していない	116	1.2%
無回答	55	0.6%



III-8. この授業に対する満足度を示してください。

満足	3683	39.0%
やや満足	3178	33.7%
ふつう	2044	21.7%
やや不満	324	3.4%
不満	152	1.6%
無回答	60	0.6%



2015年度

「学生と授業改善について考えるアンケート」報告書

発行

2016年7月

日本女子大学 学部FD委員会

〒112-8681

東京都文京区目白台2丁目8番1号

電話 03(5981)3274
